

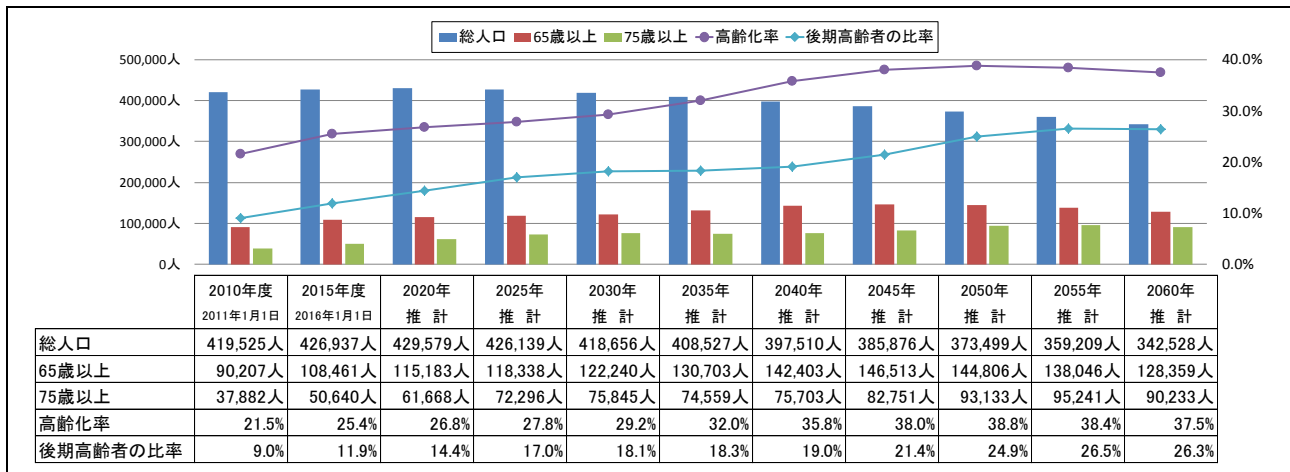
町田市内の高齢化の状況

2016年8月18日（木）

町田市高齢社会総合計画審議会資料

1. 高齢化の推移

高齢化率は2010年度には21.5%でしたが、2015年度には25.4%へと5年間で3.9ポイント上昇しています。将来推計では、町田市の人口は2020年に約43万人にまで増加し、以降はゆるやかに人口減となる一方、今後も高齢化は進展します。2035年には高齢化率が30%を超え（32.0%）、2050年には38.8%に達すると見込まれています。75歳以上の比率も上昇傾向で、2050年には24.9%と市民の4人にひとりが後期高齢者となります。

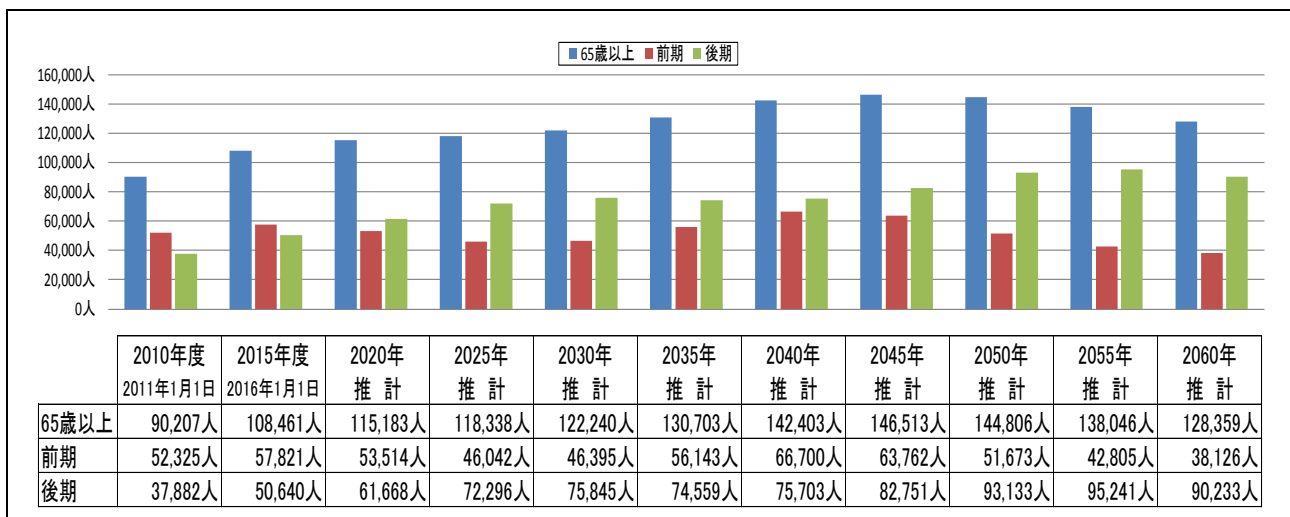


資料：2010年度、2015年度は住民基本台帳（各年度1月1日現在）

2020年以降は「町田市将来人口推移」（2015年1月1日現在の住民基本台帳を基準人口とした推計）

2. 前期及び後期高齢者人口の推移

これまでは後期高齢者数より前期高齢者数が多かったものの、その差（前期－後期）は、2010年度の14,443人から2015年度には7,181人へと縮みました。さらに、2020年以降は逆転し、後期高齢者数が前期高齢者数を上回って推移します。



資料：2010年度、2015年度は住民基本台帳（各年度1月1日現在）

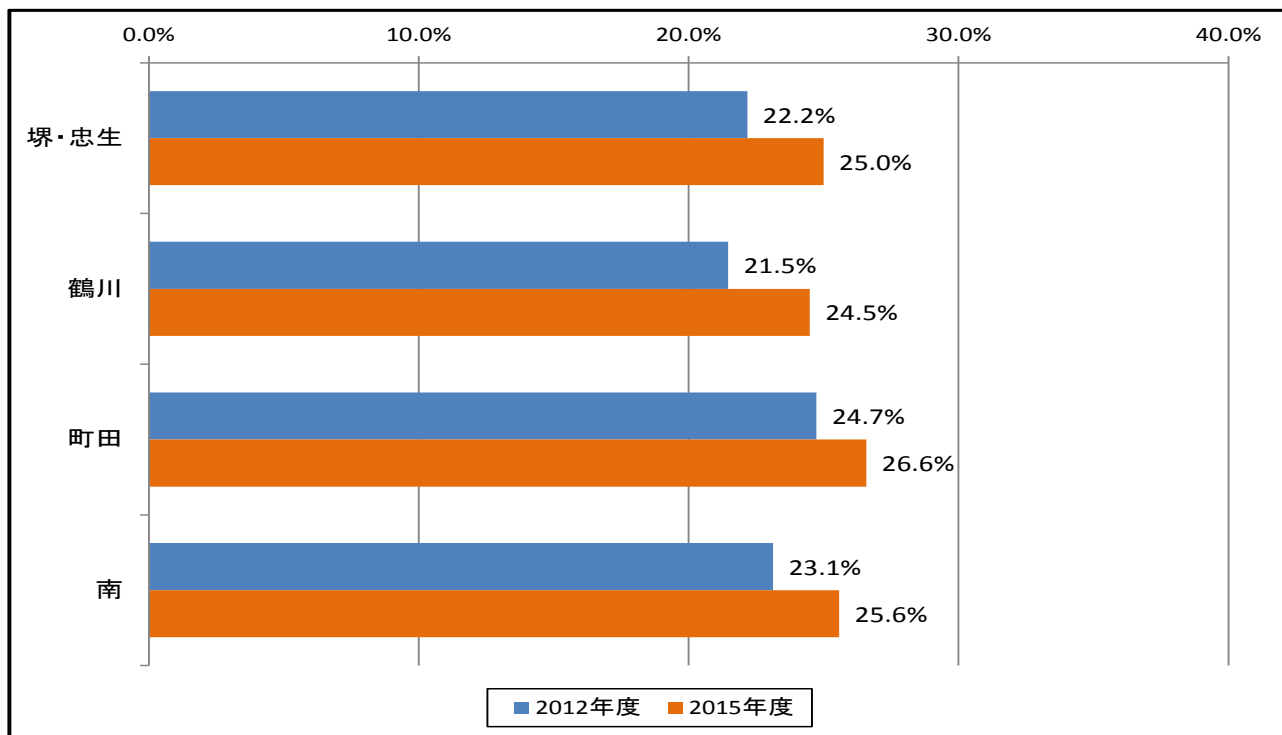
2020年以降は「町田市将来人口推移」（2015年1月1日現在の住民基本台帳を基準人口とした推計）

3. 圏域ごとの高齢化の推移（2012 年度と 2015 年度の比較）

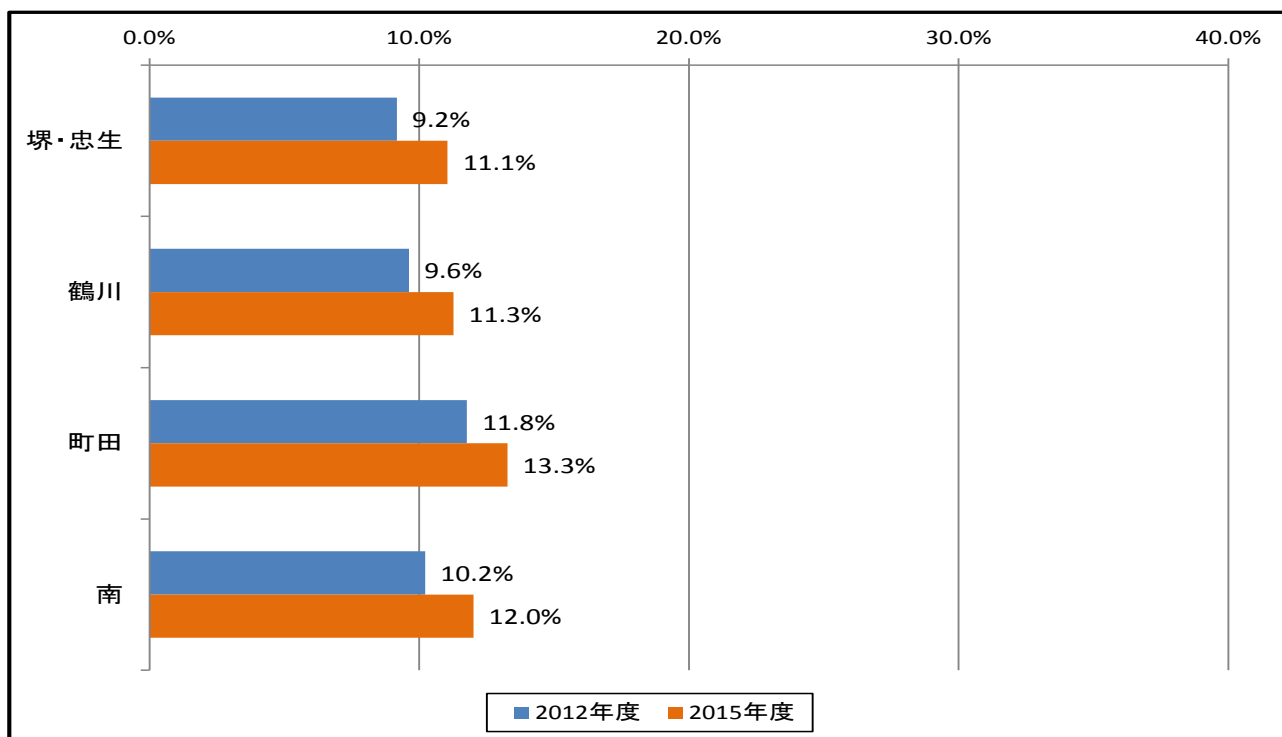
圏域ごとの高齢化率に大きな差はみられませんが、「町田」圏域が 26.6%と高くなっています（75 歳以上は 13.3%）。この 4 年間で、いずれの圏域においても高齢化が進展しています。

なお、「鶴川」圏域は 2012 年度の 21.5%から 2015 年度には 24.5%へと、3 ポイント上昇しています。

①圏域ごと（65 歳以上）



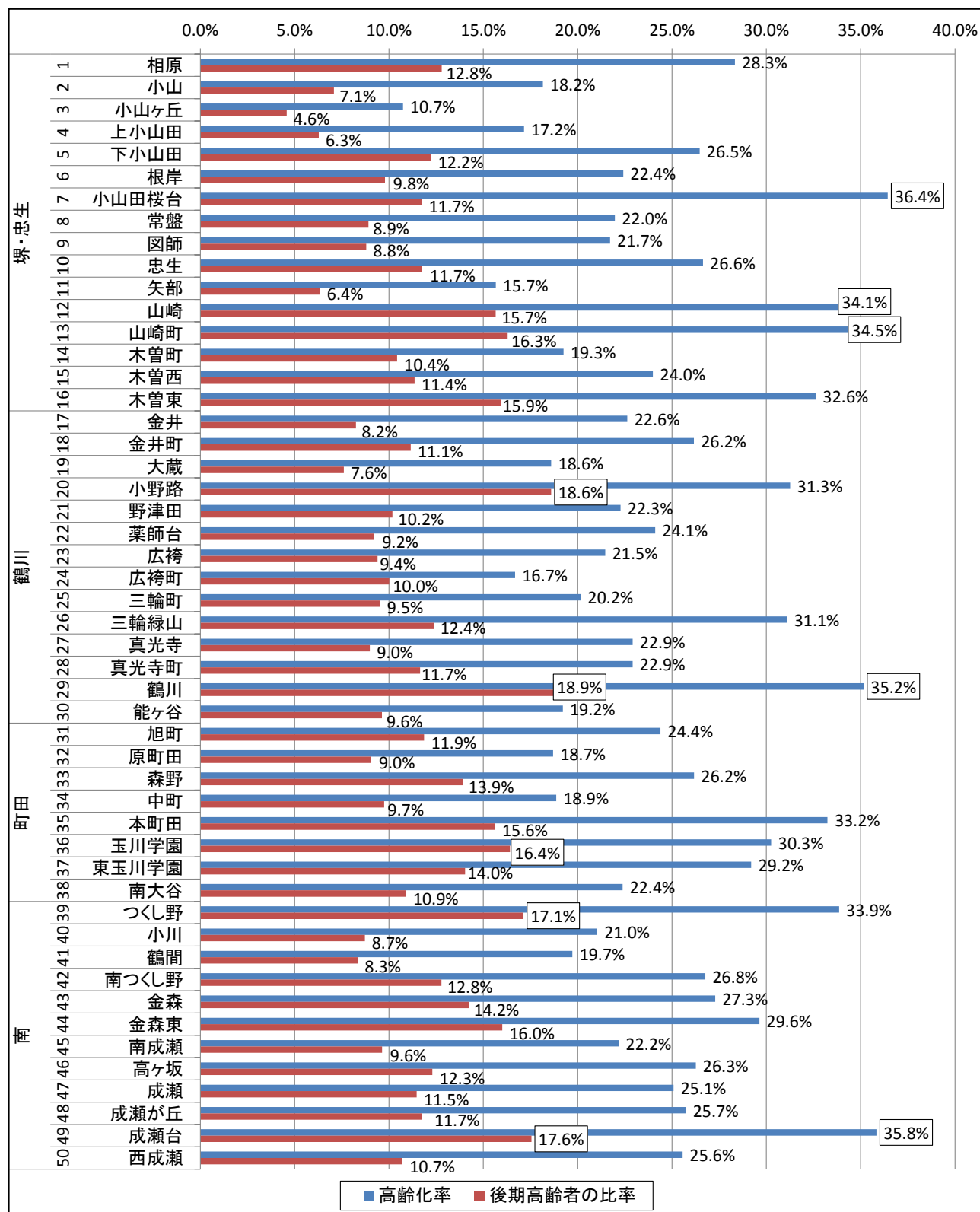
②圏域ごと（75 歳以上）



資料：住民基本台帳（2012 年度：2013 年 1 月 1 日現在、2015 年度：2016 年 1 月 1 日現在）

4. 町別の高齢化の状況（2015 年度）

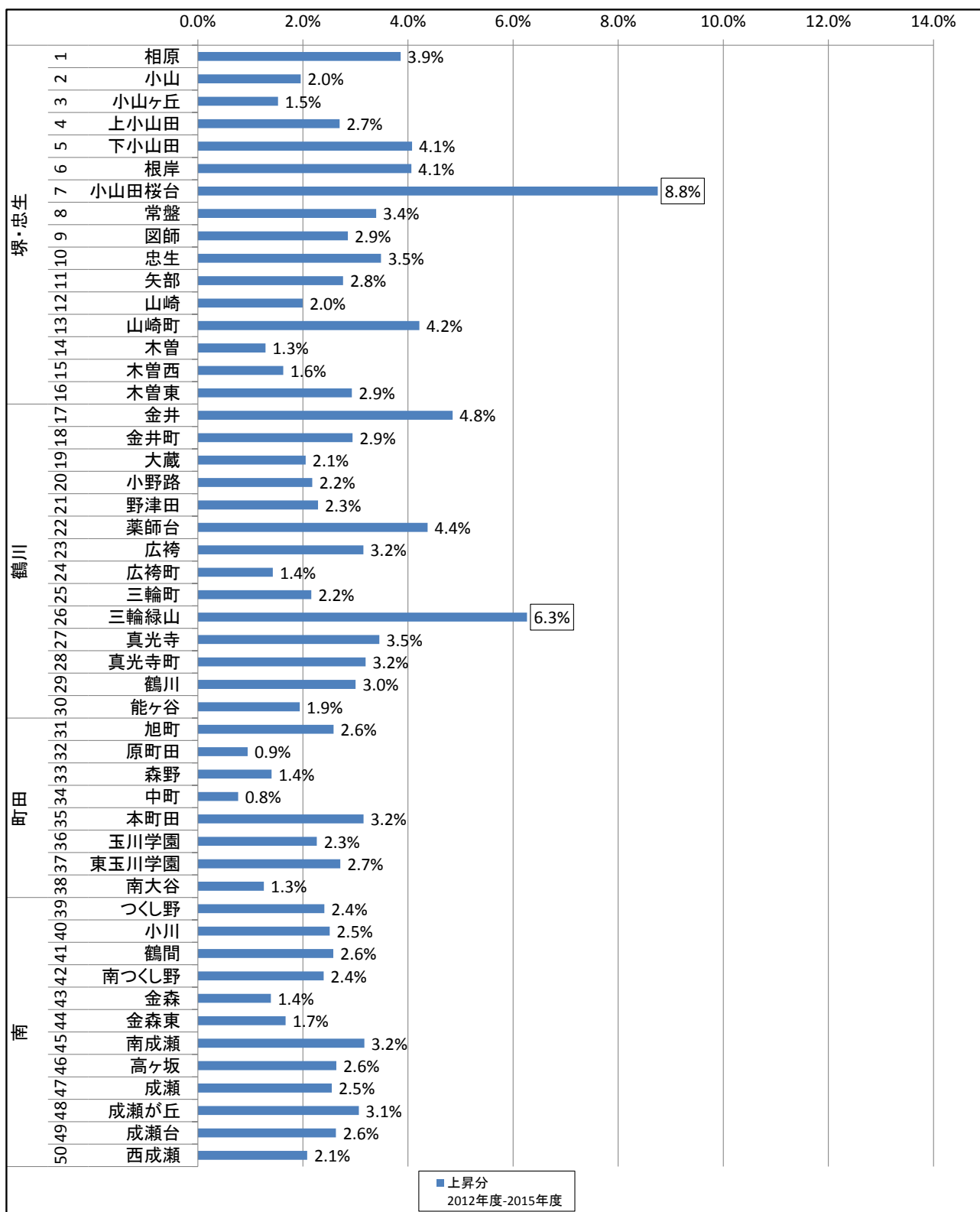
町別の高齢化率をみると、上位 5 位は、「7.小山田桜台」（36.4%）、「49.成瀬台」（35.8%）、「29.鶴川」（35.2%）、「13.山崎町」（34.5%）、「12.山崎」（34.1%）です。75 歳以上について（人口に占める後期高齢者の比率）みると、「29.鶴川」（18.9%）が最も高くなっています。



資料：住民基本台帳（2016 年 1 月 1 日現在）

5. 町別の高齢化の推移（2012 年度から 2015 年度の上昇分）

町別にみても、この 3 年間ですべての町において高齢化率は上昇しています。5 ポイント以上、高齢化率が上昇しているのは、「7.小山田桜台」（8.8 ポイント）、「26.三輪緑山」（6.3 ポイント）の 2 町です。



資料：住民基本台帳（2012 年度：2013 年 1 月 1 日現在、2015 年度：2016 年 1 月 1 日現在）

※「成瀬」「西成瀬」は、2012 年度「成瀬」と比較しています。

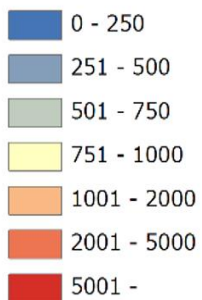
6. 町別の高齢者人口の推移（2015年から2040年まで）

（1）高齢者（65歳以上）人口の推移

2015年度

凡例

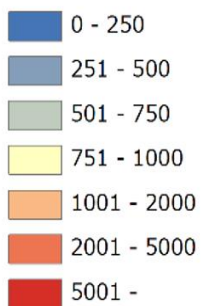
65才～（人）



2025年度

凡例

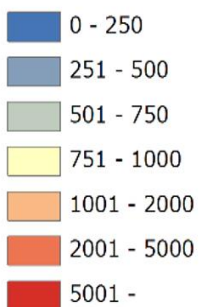
65才～（人）



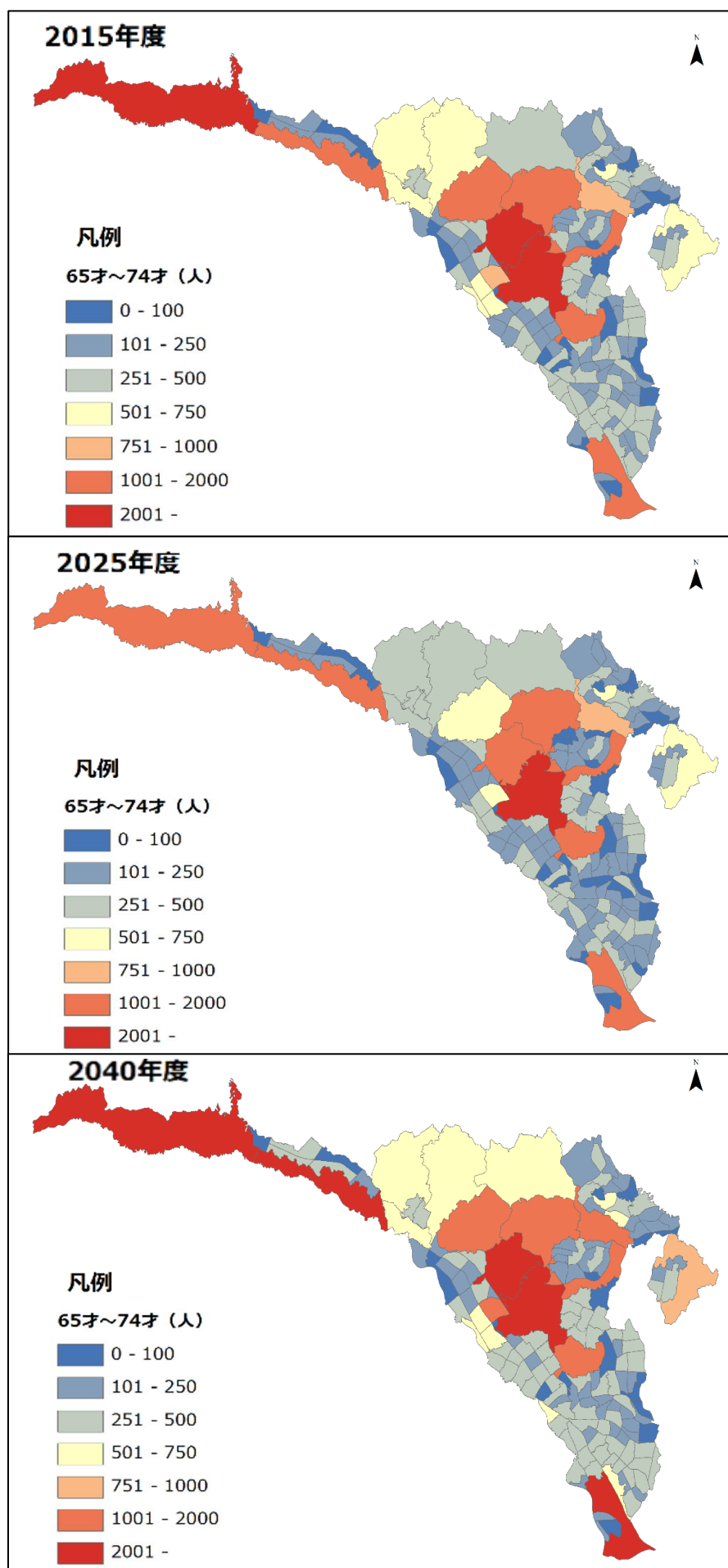
2040年度

凡例

65才～（人）



(2) 前期高齢者（65歳～74歳）人口の推移



(3) 後期高齢者（75 歳以上）人口の推移

